

教科	技術科	学年	第1学年
----	-----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価基準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ガイダンス	3	1.安心・安全 2.提出物を守る 3 迷惑をかけない, 4.技術が、人間の夢をかなえるために発達してきたことについて学ぶ 5.夢を実現する上で、アイデアや創意・工夫が技術を生み出した	「建築」「農耕」 「電気製品」「交通」 「宇宙開発」「情報通信」 について学ぶ。 技術の発達によって、生活や産業が変化してきたことを学ぶ	アイデアや工夫に取り組み発表する。 身の回りの技術についての創意工夫を思考し、どのように夢を実現させるかを判断し、言葉や図面、絵等で表現する	1.安心・安全 2.提出物を守る 3 迷惑をかけない.4.技術が人間の夢を叶える為に変遷してきたことについて学ぶ。 教科書、ワークシート、講義、タブレット、発表、講評等で主体的に学習に取り組む。
材料と加工の技術の原理・法則と仕組み	2	身の回りの材料と加工の技術 木材の特性 「木材」はどのような材料? 「木質材料はどのように材料?」	特に教科書の図や写真を白紙に写したり、身の周りにある物に気づかせたり活用し、ワークシートやタブレット、質問、情報交換、話合い、感想を発表しながら、知識・技能を身に着ける。	身の回りにある木材、金属、プラスチック、石材等に気づかせ、材料の特性や特性を生かした利用方法の例を、発表させる。 観点は、材料の強さ、重さ、加工のしやすさ、耐久性、熱や電気に対する性質、見た目や触り心地、価格、環境への+と-等から、思考・判断・表現を豊かにする。	教科書の挿絵を写し、解説を記録させながら、色々な機能を発見させる。 教科書の文章を要約させる。 意外と文章がよくまとまっており、要約に苦しむ。 そして、言葉一つひとつが精選されていて、勉強することが如何に有意義化を知り、主体的に学習に取り組む態度を身に着ける。

材料と加工の技術による問題解決	10	製作品を構想し、設計しよう 等角図(キャビネット図) →部品図→木取図→構想図	いろいろな形の作品が A4 の方眼紙に等角図で描かれた4点を、赤色でなぞる。 下描きの無い方眼紙に作品のどれか1点を選択して描く。チラシ等の多くはキャビネット図で表示されているので、仕事に就いたときにも通用することを視野に入れ、自分の創意工夫を盛り込んだキャビネット図を描く。 部品図、木取図、構想図の描き方を教師から提示して描く。構想図に矛盾がないかを教師が確認。改善点の共通理解を得てから清書す。このようにして、知識・技能を高める。	最初に何も提示しないで、A4の白紙に、作品を描かせる。生徒の作品を紹介し、他生徒からのアドバイスをもろう。教科書のキャビネット図を説明する。完成を確認した生徒には、他の生徒の応援にまわってもらう。教える教えられる生徒同士が思考・判断・表現力を養う。	主体的に学習に取り組む態度を育てる指導として、単純な立方体を描かせる。簡単なスケッチから、自分の構想図を描かせる。それでも凝ってしまふ方なので、単純化することを各生徒に発言させる。それでも、頑張る生徒には、行き詰ったところで他の生徒に気づかれないように助船をだす。
材料に適した加工方法	12	教科書を元に工程表を作成させる。「けがき」「切断」「部品の切削」「下穴あけ」「仮組み立て」「接合」「表面処理(ヤスリ掛け、ワックス掛け)」	教科書を持たせ開かせながら防護眼鏡、服装、周囲への配慮、手伝い・補助等の演技・実演や工具・機械等の本物に触れさせ、口頭やワークシートの活用で安心・安全を徹底する。	毎時間毎に各工程を分けて説明する。該当頁の教科書を開かせておく。机間循環思考・判断・表現	急がないで手順を踏ませる。繰返し伝える。鋸引き、釘打ちの下穴あけに気を配る。主体的に学習に取り組む態度
製作品を評価	1	完成した時点で 釘がはみ出たり、接合面が合っていなかったりしていることが発見されたら、早く仕上がった生徒に応援してもらう。	生徒同士で、仕上げに向けて助け合わせる。生徒は、意外と厳しいので、優しく教えるように助言する。 嫌がる生徒もいるので、無理強いはしない。	自己評価させる。思考力・判断力・表現力を養う。	工程を手抜かない。失敗は早めに対処すれば、良い作品になることをが主体的に学習に取り組む態度となる。
コンピュータの基本操作	7	コンピュータの使い方 文字入力の方法 文書処理、表計算、プレゼンテーション等のソフトウェアの操作	タブレットを使用するので、デスクトップのような操作はできない。しかし、社会に出た時には、パソコンに堪能な方からの指導を具現化できるような知識・技能を身に着ける。	プレゼンテーションはリボンへの畏怖心を軽減することである。思考・判断・表現は果敢な試行錯誤にある	リボンの各操作毎に現れる説明を読み重ねる経験を積む根気が主体的に学習に取り組む態度を育てる